

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 29 年 12 月 1 日

事業所名 夢んぼ（児童発達支援事業）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		活動内容の工夫をしています	活動スペースの確保と有効なスペース利用をしています。
	② 職員の配置数は適切である	3		活動内容によって職員を増やしています	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1	本人に分かりやすい環境整備を考えています	教室が2階のため、階段の昇降があります。トランシーバーを活用し連絡方法を考えています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	1	毎日の清掃、机や階段の手摺などの消毒をしています	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	1	2	活動前・後の時間にはミーティングの時間を設けています	具体的な手段が分からない時があるため、上司とのミーティング、相談員や関係機関との連携をしていきます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	1		平成29年度、保護者向けアンケートを実施し、保護者からのご意見などいただいているため、職員間で共有し対応していきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえて、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	1	2		公開し、さらにサービスの向上を目指し活用していきます。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3	外部評価は行っていません	理事長、局長、幹部、他の部署の管理者、所長が集まり、事業所の内容や相談に対して各部署からの意見交換を毎月設けています。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		外部研修・内部研修を行っています	研修の情報は本部から知らせていただくことや、各自で必要な研修に参加しています。今年度は内部研修の回数を増やしています。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	2	1	半年に1回、年2回個別支援計画の面談、必要に応じて訪問、相談員を含めた担当者会議に出席しています	面談はアセスメントツールを活用し、家族の状況、保育園、生活状況など把握し、個別支援計画を作成し実践しています。フェースシートなど更新し、新しい情報があれば職員間で共有しています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1	活用しています	アセスメントを行うために様式を作成し、様式に沿って聞き取りを行うことで、必要な情報を得られるようにしています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	1	2		具体的な支援内容の設定ができるように見直しをしていきます。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2	1	行っています	支援計画に沿っているかの見直しをしていきます。

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	1	行っています	活動プログラムの会議を行い、チームで作成しています。活動はその都度目的を考え、目的から外れていないか確認しながら進めています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		工夫しています	継続的に行うものでも、子どもたちの様子、成長を見ながら活動内容の変更をしています。毎月プログラム会議を行い職員間で話し合い活動を決めています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	2	1		プログラムを個々の発達に応じて現場での対応に反映している
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	2	確認しています。	記録、口頭での伝達、対応も伝えあっていますが、限られた時間のため時間の使い方や伝達の仕方を工夫します。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	2	共有しています	その日のうちに振り返りできる時は話し合い、時間が合わない時は、支援記録を使い共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			できる限り詳しく記入しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	2	1	判断しています	個別支援計画を作る際には、定期的にモニタリングを行い、支援の見直しをしています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	2	参画しています	現場の職員、児童発達支援管理責任者等、子どもの状況を知る物が参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	1	行っています	連携が偏らないような関係づくりをしています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			現在対象者はいません	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			現在対象者はいません	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	必要な際には、相談員を含めて情報の共有をしています	併用児や、移行した児童の情報の共有と理解を図っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	2	必要な際には、相談員を含めて情報の共有をしています	放課後等デイサービス事業所との情報共有も必要に応じて情報提供をしていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	専門機関の研修を受けています	他の事業所や専門機関との連携を増やしていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3		子育て支援センターでの交流をしています	交流の継続をしていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3		法人として関りがあります	担当者レベルの会議にも参加できる機会を増やします。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		連絡帳のやり取りや直接職員が話をさせていただくこと、電話等でも対応しています	言葉や文字では伝えているが、観ていただく機会が少ないとは思っているため、活動の様子を映像で残すことやブログなど情報の発信にも力を入れていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		3	ペアレントトレーニングとしては行っていません	日頃から、子どもたちの様子について話をさせていただくことと同時に、課題に対してのアプローチや言葉かけ、環境の設定等、ご家庭での過ごし場面も想定しながら、保護者からの相談など、情報の共有をしています。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	1	利用前には必ず説明をしています	変更があれば、その都度保護者に文章で案内、お知らせをしています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	2	1	児童発達支援計画の同意は得ています。	児童発達支援ガイドラインのねらい、支援内容について見直しをします。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		行っています	相談に対して、すぐに答えが出せないものあり、職員間で相談をして方向性を決める事や、アプローチをこうしていきたい等話をしています。目標や目的についても、保護者の方と相談しながら進めていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	保護者会を実施しています	欠席の方が増えたため、回数が減っている現状があります。保護者ニーズの見直し、内容の見直しを行い、保護者同士が連携できるようにしていく必要性を見直します。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3		対応しています	迅速に対応、対策を考え、実施できるよう、すぐに職員間でミーティングを行い実践しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		発信しています	毎月の会報の発行、ブログやメール配信で活動の様子や情報発信をしている。活動プログラムの中にも目的を記載する事や、日頃のノートにも目的や目標を知っていただけるように工夫しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3		注意しています	職員全員で対応しています 個人情報確認のため同意書ももらっています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		必要な伝達手段を準備対応しています	必要な配慮が来ているか確認していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	法人としてイベントを行うことがあります。	回数を増やすなど企画していきます。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	1	2	職員は知っているが、保護者への周知はできていません
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	1	火災、地震を想定して避難訓練を実施しています(年2回)	様々な状況を想定して避難訓練を実施します。南海トラフなどの大きな災害についても話合っています。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3		フェースシートの記入や面談で聞き取りをしています	定期的に実施する個別支援計画の面談の際に聞き取りをしていきます。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	現在必要な方はいません	アレルギーについては、引き続き詳しく保護者に確認していきます。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	報告書を作成している	事例集を作成し、全員が共有できるようにする。小さな事例でも報告し、事故の未然防止に努めています。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1	虐待防止チェックを活用し対応しています	職員間で、気を付けられるように、対応について話し合い、虐待ではないかの視点からも十分に配慮し対応しています。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3		現在必要な方はいません	必要であれば、保護者の方と話し合いながら同意のもと進めます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。